

第 22 章 旭川医科大学病院 受託実習生および研修生等の感染に関わる基本方針

1. 基本的な考え方

旭川医科大学病院は、北海道において中核となる特定機能病院であり、地域に根ざした良質で安全な医療機能を展開する施設である。

先進医療を実践する急性期医療環境は易感染性の患者も多く、院内感染が安全管理上の重要なリスク要因となるため、患者、職員、面会者に対して院内感染を制御することは重要な責務である。院内感染の制御は、旭川医科大学病院に従事する職員一人一人が院内感染の予防を重要課題と認識し取り組むこと、また病院各部および組織全体として院内感染対策に取り組むものであり、実習生も職員と同様の対策を求めるものである。

2. 抗体価検査とワクチン接種

(1) 対象者

旭川医科大学病院で患者に接する実習生・研修生および指導者

ただし、旭川医科大学病院研修生受入れ規程 第 3 条により研修内容において患者と近接することがない場合等で、病院長が医療安全上特に問題ないと判断した場合に限り、健康診断書の添付を省略することができる。

(2) 抗体検査の種類とワクチン接種

- ① 麻疹、風疹、水痘、流行性耳下腺炎について 2 回のワクチン接種歴または EIA 法による抗体検査の結果、各基準値を満たすことを確認する（基準値は裏面に記載している）。基準に満たない場合はワクチンを接種する。
- ② B 型肝炎については実習内容により、抗体を獲得していることが望ましいが、任意とする。
- ③ インフルエンザ流行期（12 月～4 月）に実習する場合はワクチンを実習開始 2 週間前には接種していること。

3. 結核

実習開始 1 年以内に胸部エックス線写真等で異常がないことを確認できること。

4. 証明書の提出

- (1) 所属施設長名（校医も可）で別紙の証明書を提出すること。

5. 実習中の感染対策

- (1) 旭川医科大学病院の院内感染対策マニュアルに従って実習する。
- (2) 発熱・咳嗽・鼻汁・倦怠感・皮疹・下痢などの感染性疾患が疑われる場合は教員・指導者に相談し、欠席などの対応を考慮すること。

令和元年 12 月作成

旭川医科大学病院における EIA法による抗体価(IgG)基準値
注意 他の検査法によるデータは認められない。

水痘	麻疹	風疹	流行性耳下腺炎
4.0以上	4.0以上	4.0以上	4.0以上

旭川医科大学病院 実習および研修のための調査票

学校名または施設名

	EIA法による抗体価(IgG)またはワクチン接種日(複数回であれば全て記載)					撮影日	備 考
実習生名	水 痘	麻 疹	風 疹	流行性耳下腺炎	インフルエンザ	胸部エックス線	
1					年 月 日	年 月 日	
2					年 月 日	年 月 日	
3					年 月 日	年 月 日	
4					年 月 日	年 月 日	
5					年 月 日	年 月 日	
6					年 月 日	年 月 日	
7					年 月 日	年 月 日	
8					年 月 日	年 月 日	
9					年 月 日	年 月 日	
10					年 月 日	年 月 日	
11					年 月 日	年 月 日	
12					年 月 日	年 月 日	
13					年 月 日	年 月 日	
14					年 月 日	年 月 日	
15					年 月 日	年 月 日	
16					年 月 日	年 月 日	
17					年 月 日	年 月 日	
18					年 月 日	年 月 日	
19					年 月 日	年 月 日	
20					年 月 日	年 月 日	
21					年 月 日	年 月 日	
22					年 月 日	年 月 日	
23					年 月 日	年 月 日	
24					年 月 日	年 月 日	
25					年 月 日	年 月 日	
26					年 月 日	年 月 日	
27					年 月 日	年 月 日	
28					年 月 日	年 月 日	
29					年 月 日	年 月 日	
30					年 月 日	年 月 日	
31					年 月 日	年 月 日	
32					年 月 日	年 月 日	
33					年 月 日	年 月 日	
34					年 月 日	年 月 日	
35					年 月 日	年 月 日	
36					年 月 日	年 月 日	
37					年 月 日	年 月 日	
38					年 月 日	年 月 日	
39					年 月 日	年 月 日	
40					年 月 日	年 月 日	

旭川医科大学病院で実習および研修を受けるにあたり、上記を証明します。

施設長または校医などの証明者

氏 名

Ⓔ